

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

令和5年度

◆自己評価

スタッフ個別評価・・・・・・・・・・（ス-①～⑨）

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月25日(土)(15:15~15:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 福田、原田、中川正、江崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	6人	1人	14人

前回の改善計画
施設の設備や利用中の様子を動画で撮ったり、写真でスライドショーの作成を行う。機関誌は発行頻度も増えたので回覧板に入れてもらったり、玄関外にある掲示板に貼って地域の人にPRをする。また写真掲載の可否を一覧にしたものを作って置く。近隣の方に会えた時には挨拶にとどまらず可能な範囲で情報共有する。初期支援が始まったら1週間をめどに共有の時間を取り、ケアの方向性を確認する。
前回の改善計画に対する取組み結果
動画で撮ったり、写真でスライドショーの作成は行なえなかった。広報誌を季節号4回、それ以外の月は「プチ広報誌」として発行。掲示板ではなく玄関内の靴箱の上に掲示し来館者により見て貰えるようにしたが、回覧板までは進められなかった。初期支援が始まると利用日毎に協議を行なっていき、都度記録を残し共有しているが1週間後を目途に時間を取ることができなかった。写真掲載可否の一覧表は作成できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	9	1	1	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	13	0	1	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	12	1	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	12	1	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	ミーティングやケアマネジャーからの情報・資料などで共有を行ない、体験利用や支援開始時には利用者が不安にならないよう声掛けし、ご利用の様子を写真をつけて家族に伝えている。また日頃からセンターでの雰囲気や伝わるように撮った写真を連絡帳に挟むようにしている。困りごとに気づいたら職員間で協議し、支援内容の修正・共有を行なった。近隣への挨拶も必ずこちらから声を掛けるよう心掛けられた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	新規利用者が重なると情報(以前の暮らし・病歴等)を十分に得ないまま支援を開始している事が多く、不安な時があった。ゆっくり時間をかけて対話出来なかったり、支援開始から1週間の間に勤務体制で合わない事がある。近隣住民と遭遇する事が少なく、挨拶や情報共有ができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	面接・契約から利用開始まで短期間であったり、ご家族が遠方であったり、夫婦共に認知症であったり、介護保険を初めて受ける等、情報が不足している時にどのように情報を集めるのか協議する。近隣の方々と会えない場合など、どのような手段でコミュニケーションを取るか具体的に考える。写真掲載可否の一覧表は早急に作成する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月5日(火) (15:15~15:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 岩崎、福田、原田、江崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	8人	4人	14人

前回の改善計画
ライフサポートプランの使い方をまず知り、作成したものを手順書に挟んで見える化することでゴールの共有をはかるなど活用につなげる。そのためにも研修で理解を深め、利用者の自己実現の尊重につなげる。

前回の改善計画に対する取組み結果
センター方式シートに重きを置いてケース検討会議等で活用出来たが、ライフサポートプランの作成・研修・浸透・更新等が出来なかった。現在あるライフサポートプランを見る機会が少なく、時間が作れない状態になっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	7	7	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	9	5	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	8	6	0	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	10	2	0	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
少しでも利用者の思いを知ろうと知り得た思いをミーティングで共有・協議し、課題についても会議等で協議出来ていた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
定期的なゴールに向けて再確認・共有はしているが、常に更新できておらず本当にそれが目標なのか、別の目標はないのか、本人の目標と家族の望みの相違が理解出来ない時がある。勤務体制等で会議やミーティングに参加出来ないとニュアンスや機微が伝わりにくく、短期目標は分かっているが長期目標が薄れ、結果的に曖昧な支援に繋がっていると思われる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
ライフサポートプランの作成・研修・浸透・更新を目指し業務改善を行なう。センター方式シートについても活用を続け、利用者の自己実現の尊重につなげる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月5日(火)(15:15~15:30)
令和5年12月12日(火)(17:30~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 5日: 岩崎、福田、原田、江崎
12日: 岩崎、石井、江崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	7人	1人	14人

前回の改善計画
担当を決めて、手順書やライフサポートプランとのつながりを意識しながら、センター方式シートを活用する。システムへの記録方法を周知し使いやすい方法で使用を統一、内容を分析して日常生活の支援に役立てる。

前回の改善計画に対する取組み結果
手順書の更新は、定期的に行なえ、センター方式シートの一部を活用出来ていたが、ライフサポートプランの作成が進んでおらず、つながりは出来ていなかった。システムの更新などがあり、支援記録システムへの色々記録方法を周知できなかった。その為、使いやすい方法で使用を統一する事は出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	4	10	0	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	10	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	13	0	1	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	9	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	11	0	0	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
送迎や入浴など1対1の時やリラックスしている時の会話などを聞き逃さないようにして、気付きや変化などその方に合ったケアをミーティングで共有し、体調の変化などには即時対応している。また周知、協議の為に協議期間を定め、集中して観察・支援し方向性を決めている。手順書も定期的に更新している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
「以前の暮らし方」10個以上を全員は把握できていない。特に意思表示の難しくなった方や独居の方が難しく、本人から聞くようにしているがそれ以外はわからないままになっている。また、やるかやらないかだけでなく、様子を見て考えないといけない対応が多い。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
支援記録システムへの色々な記録方法の見本を作成し、システムの理解を深め使いやすい方法で使用を統一する。手順書の定期更新は続け、センター方式シートを活用しつつライフサポートプランの作成に一部着手する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月12日(火) (17:30~18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 岩崎、石井、江崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	5人	7人	2人	14人

前回の改善計画
個人情報への壁があるので、地域包括支援センターの協力を得ながら関わりのある民生委員、老人福祉委員などを把握する。また地域にどこまで情報を開示して良いか、開示方法等をあらかじめ本人・家族に確認しておく、つながりを意識した支援を目標とする。

前回の改善計画に対する取組み結果
かたぎはら地域の役員(会長や副会長)とは良い関係が作れてきた。最低限の情報開示については確認出来ているが、関係機関への情報開示、開示方法の確認が不十分だった。民生委員、老人福祉委員などと、ケアワーカーが関わる機会がなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	9	5	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	8	6	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	10	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	10	2	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者と地域の繋がりが切れないうケアマネジャーが支援を計画したり、送迎・訪問時に近隣住民に挨拶を実施することでしっかりとつながりを意識している。本人と家族・介護者との関係は出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
センター方式シートを活用し本人を理解出来るようにしてきたが、支援時間以外での自宅生活の不明な点がまだあったり、地域との関係継続、地域包括支援センターとの連携が弱い。ケアワーカーが民生委員・老人福祉委員などと関わる機会がないため活用出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
利用者が住んでいる地域の役員とも良い関係が作れるようにする。また地域包括支援センターとの連携も増やしていき、民生委員・老人福祉委員などとのつながりを作って利用者の生活実態の把握に努める。個人情報については利用前に近隣との関係を確認し、情報開示についての同意を得る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月12日(火) (17:30~18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 岩崎、石井、江崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	10人	3人	1人	14人

前回の改善計画
職員体制については業務改善を検討し、工夫する努力を行うことで柔軟な支援に結びつける。本人や家族のニーズを聞きながら、生活を再発掘し居心地の良い生活環境を整える。

前回の改善計画に対する取組み結果
職員体制が整わず業務改善を検討しながら創意工夫を行ない、柔軟な支援に結びつけられた。ユーザーアンケートなどで本人や家族のニーズを聞きながら、生活を再発掘し居心地の良い環境を整える努力は行えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	7	7	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	12	1	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	13	0	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	13	0	0	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有し受診同行、買い物代行・同行、受診後に連絡を受けて送迎するなど柔軟な支援を行なった。泊まり対応にも妥当適切に対応した。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員体制が整わないため業務改善を検討するも進まず、利用者の入浴・訪問の回数制限を行なったりしている。また「毎日通い利用」等のニーズに応えることができず、ニーズに合った支援なのかわからない状態になっている。去年に比べ個々に関われる時間を取ろうとしているが、マンツーマンなどは難しい状態である。職員が地域に出向く機会が少なく、地域資源を知り活用が出来ていない。公平性の重視、職員不足を意識しすぎて全てそれを理由にしている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
業務改善の検討を引き続き行い、ニーズに沿った居心地の良い生活環境を整える。職員が地域に出向く機会を作り、地域資源を知り自立支援に向けた活用出来るようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月12日(火) (17:30~18:30)

6. 連携・協働

メンバー 岩崎、石井、江崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	9人	4人	14人

前回の改善計画
来年は開設5周年を迎えるため、5周年記念イベントを企画・実施、ニーズの把握のためにもアンケートを実施する。また継続して取り組める土台作りとして、地域で不要となったタオル等を寄付して頂き、利用者と共に雑巾等を縫って地域の学校に配ることで利用者の役割づくりと地域還元、またSDGsの取り組みにもつなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果
5周年記念イベントの企画・実施を事故なく行えた。行政や法人のコロナ対応の指示で積極的になれない中、自分たちが出来ること・できそうなことを模索し、かたぎはら独自事業によるイベントの開催などもできた。また事前にチラシを配布したことにより施設周辺の地域住民が多く訪れるようになり、イベント日以外にも子ども達から声を掛けてもらえるようになった。計画に挙げていたタオルの寄贈などは発信が弱く進まなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	8	0	5	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	6	1	5	14
②	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	6	3	4	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	9	2	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
施設全体では自治体や地域包括支援センターとの会議、地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していた。またよもぎ倶楽部とのつながりや町おこしに協力し、地域還元を行なった。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ケアワーカーが日々の業務に追われ、関係機関との会議になかなか参加出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
自分たちが出来ること・できそうなことを模索し続け、かたぎはら独自事業による定期的なイベントの開催の継続、今までに築いた地域住民との関係を維持し地域還元、またSDGsの取り組みにもつなげる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月24日(日)(15:15~15:25)

7. 運営

メンバー 佐藤、福田、原田、岩崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	5人	5人	14人

前回の改善計画
参加したくなる消防訓練として、体験型(消火器の使い方、簡易担架の作り方、応急処置等)と豆知識、防災グッズの確認等を含めた形で企画・実施する。AEDの使い方訓練も交えて行ったり、アンケートを実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果
内部での消防訓練は実施出来たが体験型避難訓練を予定として組み込んでおらず、地域住民も参加したくなる消防訓練の企画・実施は出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	10	3	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	13	0	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	4	1	14
③	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	8	5	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	年に1回のユーザーアンケートの実施など、利用者・家族からの声を聴き職員で協議し反映できている。イベントの開催や参加、よもぎ倶楽部や京都中央看護保健大学校との協働した取り組みを行なった。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	利用者との1対1の関係あるいは家族との関わりに重点を置いていたため、事業としてどのように地域と関わっているかが伝わっておらず、地域に必要とされる拠点としてはまだまだ弱く地域から意見を貰う機会が少ない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	今までに築いた地域住民との関係を維持し参加したくなる消防訓練として、体験型(消火器の使い方、簡易担架の作り方、応急処置等)と豆知識、防災グッズの確認等を含めた形で企画・実施する。利用者家族へも案内し、地域においてどのような活動を行なっているのか伝えていく。また意見箱の設置により幅広い意見を頂けるよう工夫する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月24日(日)(15:15~15:25)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 佐藤、福田、森、岩崎、原田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	4人	1人	14人

前回の改善計画	ケース会議・全体会議の時間を使って短時間でも良いので伝達研修を行う。そのためにも業務改善をして復命をまとめられる時間を作る。外部研修の情報発信と内部研修のさらなる充実をはかる。
前回の改善計画に対する取組み結果	短時間でも伝達研修を行なえたが復命書をまとめられる時間を業務時間内に確保できなかった。外部研修の情報発信はファイルに綴り何時でも見られるように、内部研修は毎月実施しさらなる充実は図れた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	9	3	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	5	9	0	14
③	地域連絡会に参加していますか	1	3	4	6	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	11	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 可能な限り研修に参加して、参加者の復命書と資料を回覧することでフォローアップを行った。ヒヤリハットや事故が起きた時はその日のうちに話し合い、リスクマネジメントに取り組んでいる。また内部のリスクマネジメント委員会に報告書を提出し意見も取り入れることができている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 内部研修参加には積極的であるが、外部研修への参加に興味の薄い人も多いため、苦手な分野に二の足を踏んでいたりして参加に結びついていない。勤務体制が厳しくなり参加する時間が確保できず、地域の連絡会等へのケアワーカーの参加が出来ていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 外部研修はプチミーティングの用紙に何の研修案内が来ているのかを記入する事で興味を引き見られるようにする。内部研修はさらなる内容の充実を図り、受講できる体制が確保できるよう業務改善を行なっていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月25日(月)(15:20~15:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 石井、原田、古山、佐藤、岡田、江崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	2人	1人	14人

前回の改善計画
相手の気持ちを汲み取り、同じ目線で考えたり、声色やペースを合わせたコミュニケーションをはかる。安心できる声かけとして事実ではない事(嘘)を伝える事に馴れず、心地良く過ごせるような声掛け等の工夫を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
相手の気持ちを汲み取り、同じ目線で考える・声色やペースを合わせる・心地良く過ごせるような声掛けの工夫を行なった。しかし確実性が弱く乱れる事もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8	5	1	0	14
②	虐待は行われていない	8	5	1	0	14
③	プライバシーが守られている	2	9	3	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	8	1	1	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	11	1	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	職員間で、身体拘束、虐待、プライバシーについての意識が図られており、声を掛け合うなど予防に向けての取り組みが保たれた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	身体拘束、虐待、プライバシーについての意識はあるものの、ミーティング以外の情報のやり取りで、慣れによる声の大きさの調整が不足していたり、長時間に渡るやり取りでの情報の洩れがある。成年後見制度が理解出来ていない職員もおり、ケアマネジャーは実施しているがケアワーカーが必要な方に成年後見制度の必要性を感じられずにいる。また、すぐに相談や情報共有する必要があるかどうかの判断が遅い。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	成年後見制度を学び、理解する機会を設ける。身体拘束、虐待、プライバシーについてさらなる研修、協議をする場を作るなどの取り組みを行なう。

外部評価 地域かかわりシート①

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	5		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	3	1	1
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	5		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5		

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 「かたぎはら」とわかりやすくするため、外の磨り硝子の活用（横断幕やペインティング）を具体化させ、関係機関へ相談しながら着手する。 玄関口や建物側面の花壇を植物で飾るなど、美化活動を強化する。	4		1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4		1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	5		

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 地域と関われる取り組みの情報収集・参加と、イベントの企画・運営の安定的な実施。 区民運動会の参加やベランダカフェの開催。	5		
1	職員はあいさつできていますか？	5		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4		1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	5		

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 地域での取り組みの情報収集を行い、利用者との関わりから在宅拠点での生活を考えられるよう地域に出向く。	4		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	4		1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4		1
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2		3

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 会議の内容が報告中心ではなく、取組みの企画等を一緒に考え、有意義なものにしていく。	5		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	5		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3	1	1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	5		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5		

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 災害について近隣の方と一緒に考えたり訓練する機会をもつためにも、地域を巻き込んだ消防や防犯関連のイベントを企画・実施していく。	1	1	3
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	2	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1	2	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		5	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		1

以上で終了です。ありがとうございました。

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	3	1	1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	5		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5		

<p>【上記4つのチェック項目に関する意見】 ※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見 結果的に常勤職員の2/3も参加できていないが、人員体制が少ない中でも少しの時間でも集まって話そうという姿勢は見られる。</p>
<p>【前回の改善計画に対して意見】 ※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見 一生懸命取り組まれていると思う。</p>
<p>【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】 ※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見 できていなかったことを少しでもやっという努力がみられる。</p>
<p>【「自己評価」をテーマにした自由意見】 これを職員さんが全部やっていくのは大変だと思う。</p>
<p>【改善計画】※後日記入 人員体制が整わない中でも、ミーティングの時間を取って意見交換や情報共有ができるよう、業務内容や時間の使い方を工夫していく。</p>

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4		1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	5		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

入りやすく、何でも相談できている。
玄関に花やベンチができていて明るい。

【前回の改善計画】

「かたぎはら」とわかりやすくするため、外の磨り硝子の活用（横断幕やペインティング）を具体化させ、関係機関へ相談しながら着手する。
玄関口や建物側面の花壇を植物で飾るなど、美化活動を強化する。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

外の表札は色も暗く見えづらい。ガラスのところに貼ってあるのも遠慮しすぎなので、もっとアピールしたら良いと思う。

【今回の改善計画】※後日記入

前回計画にあげていた横断幕の作成、掲示を実現する。また地域の方の協力を得て看板を作成、立てる。植物の手入れをし、美化を保つ。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		
1	職員はあいさつできていますか？	5		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4		1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	5		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

いろいろなことに取り組まれており、写真など広報も上手にされていると思う。
ただ、ここに何か建物があるのは知られているが、特に「小規模多機能」は聞き慣れないので、何をしている施設なのかはまだよく理解されていないと思う。

【前回の改善計画】

地域と関われる取り組みの情報収集・参加と、イベントの企画・運営の安定的な実施。区民運動会の参加やベランダカフェの開催。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

もっと「小規模多機能について」など知ってもらえるよう地域のすこやかサロンなどで説明してもらったら良いように思う。

【改善計画】※後日記入

小規模多機能について説明させて頂ける場を増やし、積極的にアピールをすることで地域の相談窓口としての機能を果たす。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	4		1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4		1
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2		3

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】 包括でも地域ケア会議やカフェ、体操などでしか地域と交わる機会がない。近所の心配な方への関わりについては難しいところがあると思う。</p>
<p>【前回の改善計画】 地域での取り組みの情報収集を行い、利用者との関わりから在宅拠点での生活を考えられるよう地域に出向く。</p>
<p>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】 民生委員の名簿などは包括とは共有するが、事業所が把握するには包括を通して紹介してもらったりしないといけない。ケアマネジャーと協力したくても民生委員もボランティアでしており、今以上に負担がかかるのはしんどいと思っている。</p>
<p>【改善計画】※後日記入。 よもぎの活動など、利用者が役割を持って地域に出る機会を増やす。またそのためにも地域資源としてボランティア等の協力も得られるようにする。</p>

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	5		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3	1	1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	5		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

いつもわかりやすくまとめてあって、よくできていると思う。
事例検討まではなかなかできていない。
報告だけではなく相談することで、いろいろな提案をいただいたり協力してもらったりしている。

【前回の改善計画】

会議の内容が報告中心ではなく、取り組みの企画等を一緒に考え、有意義なものにしていく。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

運営推進会議に出ている小規模多機能の事がわからないのもっと話して欲しいと思う。

【改善計画】※後日記入

取り組みの透明性は引き続きわかりやすいよう報告し、相談することで地域力アップにつなげる。地域の気になる課題があればいつでも共有できるような仕組みを作る。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	1	1	3
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	2	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1	2	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		5	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		1

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】 地域の防災訓練は事業所には声はかけていない。 事業所としては訓練の際に近隣へお知らせの書面を配布しているが、参加されたことはない。</p>
<p>【前回の改善計画】 災害について近隣の方と一緒に考えたり訓練する機会をもつためにも、地域を巻き込んだ消防や防犯関連のイベントを企画・実施していく。</p>
<p>【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】 何かあれば協力をとっていても、普段やっていないと非常時には何もできない。普段からの訓練が大切になってくる。</p>
<p>【改善計画】 ※後日記入 前回できなかった、消防や防犯・防災などの体験型の訓練を企画、実施する。</p>

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	京都市社会福祉協議会	代表者	小石玖三主	法人・事業所の特徴	施設理念の「笑顔とぬくもりを大切に、寄り添いながら、その人らしい暮らしを支えます」に加え「かんきょうを変えず、たのしみながら、ぎょうじに参加し、はつらつと、らしい生活のお手伝いをします」の小規模多機能のコンセプトを意識しながら、在宅で暮らし続けていけるように、職員間の話し合いを大切にして、適宜必要な情報を正しく共有できるように、そして、その時々に合わせて援助を心がけています。
事業所名	小規模多機能かたぎはら	管理者	柿迫稔夫		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	3人	0人	0人	1人	1人	3人	0人	0人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	読みたくなるような内容で広報を充実（ホームページの動画やQRコードの掲載等）させ、周囲に「かたぎはら」をより身近に知ってもらえる取組みに慣れていく。 利用者の「～したい」の実現のため、思いの共有を見える化していく。	結果的に常勤職員の2/3も参加できていないが、人員体制が少ない中でも少しの時間でも集まって話そうという姿勢は見られる。 できていなかったことを少しでもやっ払いこうという努力がみられる。	一生懸命取り組まれていると思う。 これを職員さんが全部やっているのは大変だと思う。	人員体制が整わない中でも、ミーティングの時間を取って意見交換や情報共有ができるよう、業務内容や時間の使い方を工夫していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	入りやすく、何でも相談できている。 玄関に花やベンチができていて明るい。	「かたぎはら」とわかりやすくするため、外の磨り硝子の活用（横断幕やペインティング）を具体化させ、関係機関へ相談しながら着手する。 玄関口や建物側面の花壇を植物で飾るなど、美化活動を強化する。	外の表札は色も暗く見えづらい。ガラスのところに貼ってあるのも遠慮しすぎなので、もっとアピールしたら良いと思う。	前回計画にあげていた横断幕の作成、掲示を実現する。また地域の方の協力を得て看板を作成、立てる。植物の手入れをし、美化を保つ。
C. 事業所と地域のかかわり	いろいろなことに取り組みされており、写真など広報も上手にされていると思う。 ただ、ここに何か建物があるのは知られているが、特に「小規模多機能」は聞き慣れないので、何をしている施設なのかはまだよく理解されていないと思う。	地域と関われる取組みの情報収集・参加と、イベントの企画・運営の安定的な実施。区民運動会の参加やベランダカフェの開催。	もっと「小規模多機能について」など知ってもらえるよう地域のすこやかサロンなどで説明してもらったら良いように思う。	小規模多機能について説明させて頂ける場を増やし、積極的にアピールをすることで地域の相談窓口としての機能を果たす。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>包括でも地域ケア会議やカフェ、体操などでしか地域と交わる機会がない。近所の心配な方への関わりについては難しいところがあると思う。</p>	<p>地域での取り組みの情報収集を行い、利用者との関わりから在宅拠点での生活を考えられるよう地域に出向く。</p>	<p>民生委員の名簿などは包括とは共有するが、事業所が把握するには包括を通して紹介してもらったりしないといけない。ケアマネジャーと協力したくても民生委員もボランティアであり、今以上に負担がかかるのはしんどいと思っている。</p>	<p>よもぎの活動など、利用者が役割を持って地域に出る機会を増やす。またそのためにも地域資源としてボランティア等の協力も得られるようにする。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>会議の内容が報告中心ではなく、取り組みの企画等を一緒に考え、有意義なものにしていく。</p>	<p>いつもわかりやすくまとめてあって、よくできていると思う。事例検討まではなかなかできていない。報告だけではなく相談することで、いろいろな提案をいただいたり協力してもらったりしている。</p>	<p>運営推進会議に出ている小規模多機能の事がわからないのでもっと話して欲しいと思う。</p>	<p>取り組みの透明性は引き続きわかりやすいよう報告し、相談することで地域力アップにつなげる。地域の気になる課題があればいつでも共有できるような仕組みを作る。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>災害について近隣の方と一緒に考えたり訓練する機会をもつためにも、地域を巻き込んだ消防や防犯関連のイベントを企画・実施していく。</p>	<p>地域の防災訓練は事業所には声はかけていない。事業所としては訓練の際に近隣へお知らせの書面を配布しているが、参加されたことはない。</p>	<p>何かあれば協力をお願いしているが、普段やっていると非常時には何もできない。普段からの訓練が大切になってくる。</p>	<p>前回できなかった、消防や防犯・防災などの体験型の訓練を企画、実施する。</p>